



森づくりは水づくり 自然の恵みを発電利用

- 活動時期 → 通年
 - 活動場所 → 大川村
 - 主な活動メンバー： 社員
- 【ホームページ】
<http://www.sirataki.or.jp/>

(取り組み内容)

水力発電に必要な「水」をつくるのは「山」であるという認識のもと、村の森づくりを行いながら水力発電の運営を行っている。

◆小水力発電

最大 60kw の小水力発電を国の補助金等を使い設置
 →園芸ハウス用の電力として利用（20～30kw の使用量）

設置当初は、必要な電力のみを使用し、余剰分は捨てられる形になっていたが、現在は売電する仕組みを整え、効率的に稼働させている。

【建設費】1 億 5 千万円程（うち発電機は 5 千万程）

【対応年数】約 30 年

【水力発電普及のポイント】

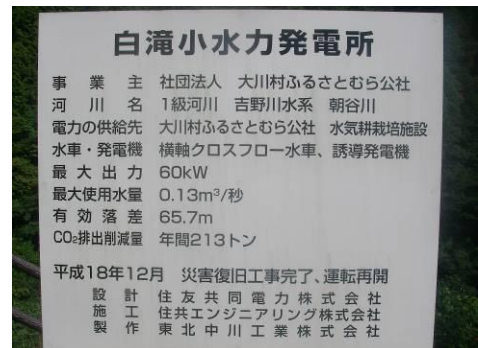
- ・補助金をうまく利用する
 （独自に設置すると採算がとれない可能性も）
- ・故障したときの対策を考えておく（修繕は大変！）
- ・水に関する法律を理解しておく
 （水は古来より権利争いが多いため法律の縛りも強い）
- ・運営できる技術者の確保（電気主任技術者など）
- ・水力を 1 つの PR 手段と捉えて利用する

◆木質ペレットの利用

公社施設の暖房と、ハウスの加温（水耕栽培）には木質ペレットを利用している。

◆今後の展望

まずは村の産業を整え、需要ができれば（それに使う）水力を広めていきたい。
 最終的には水力でそれぞれの家の電気が使えるようになれば嬉しい。



小水力発電施設



木質ペレットのボイラー設備